

平成 28 年度 第 1 回 諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議 会議録

○ 日 時

平成 29 年 3 月 15 日（水）午後 3 時～4 時

○ 会 場

諏訪市役所 大会議室

○ 出席者

<本部長>

金子市長

<副本部長>

平林副市長

<本部員>

関総務部長、河西企画部長、伊藤市民部長、関健康福祉部長、飯塚経済部長、小松建設部長、
宮下水道局長、木島会計管理者、土田教育次長、松崎議会事務局長

<幹事>

金原総務課長、前田企画政策課長、花岡財政課長、茅野地域戦略・男女共同参画課長、
守屋こども課長、前澤健康推進課長、大館商工課長、金子都市計画課長、河西教育総務課長

<事務局>

伊藤企画政策係長、牛山企画政策係主査、小松企画政策係主任

○ 欠席者

小島教育長

○ 会議結果

- ① 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果を確定した。
- ② 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂を決定した。

○ 会議概要

1 開会

（河西企画部長）

- ・ 第 1 回諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議を開催する。
- ・ 会議開催に先立ち、本部長である金子市長より挨拶をいただく。

2 本部長挨拶

（金子市長）

- ・ 先ほど、市議会本会議において平成 29 年度当初予算が可決された。引き続き、まち・ひと・しごと創生本部会議を開催する。

- ・平成 27 年 12 月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してから 1 年余りが経過した。総合戦略には KPI（重要業績評価指標）を設定しており、施策の進行管理、効果検証を行うこととしている。
- ・2 月には「まち・ひと・しごと創生有識者会議」を開催し、外部有識者の皆さんから効果検証にあたり様々なご意見を伺った。本日の会議では、総合戦略の効果検証結果を確定するとともに、総合戦略改訂の決定を行う。また、直近の人口動態について報告する。
- ・今後の諏訪市の地方創生の推進にあたり、前向きな意見をいただきたい。

3 報告

(1) 直近の人口動態について

(本部長)

- ・それでは、「(1) 直近の人口動態について」、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.1 に基づき説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

(本部長)

- ・諏訪市からの子育て世帯転出は気になるところである。
- ・最後に全体を通じて意見等を伺いたい。

4 議事

(1) 第 2 回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議結果について

(2) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果について

(本部長)

- ・続いて、議事に移りたい。
- ・「(1) 第 2 回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議結果について」、「(2) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果について」、事務局より説明する。

(事務局)

※資料No.2、No.3 に基づき説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
- ・効果検証は毎年度実施する。総合戦略初年度の効果検証について、有識者会議での意見を踏まえた最終結果について説明を行った。

(本部員)

- ・子育て支援策など、個々の内容については、修正された内容で問題はないと思う。

(本部員)

- ・これまでの就職説明会は、学生に地元へ来てもらうことが主流となっている。平成 27 年度において東京での就職説明会を開催しているが、こちらから出向くことがもう少し必要だと思う。
- ・情報発信も必要であるが、就職を希望する学生が多く存在する首都圏や中京圏などに出向き、直接面談することが求められるのではないかな。
- ・現在も労務対策協議会において就職説明会を行っているが、個々の企業担当者が、諏訪市や長野県に限らない総合的な就職相談会に出向くことについて、行政としてのバックアップが必要になると考えている。

(事務局)

- ・効果検証については担当課と調整して行っている。行政や団体がどこまで対応できるのかという課題もあるので、現段階ではこの内容にとどめたい。
- ・今後も効果検証を続ける中で、具体的な動きが出てきた段階で総合戦略の改訂へと盛り込んでいきたいと考えている。

(本部長)

- ・総合戦略に基づき新たな取組へと発展できるよう、今後の改訂の中で位置付けてほしいと思う。

(本部長)

- ・直接、効果検証結果には関係しないが、直近の人口動態について、近隣市町村へ子育て世帯が転出超過の状況であると説明があった。近隣市町村が取り組んでいる人口増に関する施策を把握して、人口動態を検証していく必要があると思う。
- ・茅野市への転出超過は地価が関わっていると思う。岡谷市への転出超過は何らかの施策が影響しているかもしれない。近隣市町村に対抗する訳ではないが、諏訪市の施策の参考にもなるので、情報として掴んでおくべきである。

(事務局)

- ・過日、理事者協議を行う中で、近隣市町村の施策把握について市長からも指示を受けている。新年度以降、諏訪市との比較ができるよう対応していきたいと考えている。
- ・人口動態の数字で見ただけでは分からない部分もある。宅地建物取引業協会や他市町村担当者の話を聞くなど、施策が影響しているのか、それ以外の要素が関わっているのか、検討を進めたい。

(本部長)

- ・まずは現状把握が必要である。要因分析を行い、近隣市町村の施策把握も進めていきたい。

(3) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂について

(事務局)

※資料No.4 に基づき説明

(本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(本部長)

- ・水道や下水道などの生活基盤について、温泉も含めて諏訪市の PR 材料として提供することで、人口増につなげていきたいと考えている。

(本部長)

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び改訂について、承認をいただきたいがよろしいか。
(異議なしの声)

(本部長)

- ・ありがとうございました。

5 その他

(河西企画部長)

- ・その他連絡事項について、事務局より報告したい。

(伊藤企画政策係長)

※資料No.5に基づき説明

(前田企画政策課長)

※資料No.6に基づき説明

6 閉会

(平林副市長)

- ・人口動態については、近隣市町村への転出超過の原因分析がなされた上で、今後の施策展開の検討が必要になると思う。
- ・地方創生に限らず、各部・課・係において、それぞれが抱える課題を明らかにするとともに、原因分析や対応策を考えるという姿勢を持つことが求められる。
- ・企画政策課において、総合計画と総合戦略の一本化を検討している。国の動きとして地方創生がどこまで続くのか不透明な部分もあるが、総合戦略がなければ国からの支援制度を受けることができない。今後もそれぞれの立場で取組を進めてほしい。